

授業科目名	メディア教育
科目番号	OATW15H
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 金7,8
担当教員	鈴木 佳苗, 小野 永貴, 辻 慶太
授業概要	本講義では、生涯学習社会における学校図書館や公共図書館、ネットワーク環境などを含むアナログからデジタルまでの学習環境の在り方、これらの学習環境におけるメディアの活用や教育等を統合的に扱い、その基盤となる理論やモデル、実践について学ぶ。具体的には、メディアを活用して効果的に情報を収集・判断・創造・発信するために必要とされる「メディアリテラシー」の概念、メディア教育や学習環境の整備の重要性、現状や課題等についての理解を深め、今後の展開等について考察する。
備考	東京キャンパス開講;毎年日本語で授業;図書館情報学専門科目 OATW158と重複履修不可。 01MBE21と同一。 オンライン(オンデマンド型)
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	意味的研究力 メディア専門知識
授業の到達目標(学修成果)	(1) メディア利用の実態や影響、メディアリテラシーの概念、メディア教育の現状や課題について理解し、教育プログラムの今後の展開などについて考察する。 (2) 公共図書館及びネットワーク上の学習環境の歴史や現状について理解し、学習の場の今後のあり方について考察する。 (3) 学校教育におけるメディアの提供システムである学校図書館の経営の基本的事項について理解し、現在の学校図書館がメディアリテラシーの育成にどのように活用できるか考察する。
授業計画	(1) 授業の全体像,目的,方法の説明(鈴木) (2) メディア利用の現状と影響、メディアリテラシーの概念、メディア教育の概要(鈴木) (3) 国内外のメディア教育の歴史と現状(鈴木) (4) メディア教育のプログラムの構成、メディア教育の今後の課題(鈴木) (5) 遠隔学習の歴史(辻) (6) オンライン学習の現状(辻) (7) オンライン学習の効果・著作権(辻) (8) 日本における学校図書館の動向と課題(小野) (9) 学校図書館と探究学習の国際的動向(小野) (10) 学校図書館とメディア教育の将来展望,全体総括(小野)
履修条件	
成績評価方法	到達目標に示された項目に基づいた課題を課し、以下のように評価を行う。 最終レポート70%、授業で出された小テスト・課題30% 最終レポートは、論点、根拠、構成、引用、文章表現の観点で評価する。 全体得点の60%以上で合格とする。 最終レポート、授業で出された小テスト・課題については、必要に応じて全体講評をmanabaに掲載する。
授業外における学修方法	メディアリテラシー、学習環境、学校図書館などに関連した文献を読み、指定の形式でまとめる課題を課す。まとめた内容に基づいて授業中に議論を行う場合もある。

教材・参考文献・配付資料等	・講義資料の配付方法・配布時期:授業時にmanabaで配布する。 参考書 ・坂本旬 『メディアリテラシーを学ぶ:ポスト真実世界のディストピアを超えて』 大月書店, 2022, 256p (鈴木) ・金成隆一著『ルポ MOOC革命:無料オンライン授業の衝撃』岩波書店, 2013, 256p. (辻) ・Anthony Tilke. The International Baccalaureate Diploma Program and the School Library: Inquiry-Based Education. Libraries Unlimited. 2011, 139p. (小野)
オフィスアワー等(連絡先含む)	鈴木 佳苗 秋学期:木 15:30-16:30 7D112 kanae@slis.tsukuba.ac.jp 辻 慶太 水12:00-13:00 7D512 keita@slis.tsukuba.ac.jp 小野 永貴 月12:15-13:30 7D114 (会議等で不在のことがあるため、できる限り事前にメールで連絡してください) milkya@slis.tsukuba.ac.jp
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	・オンライン授業の種類や実施方法、実施ツール:オンライン(オンデマンド型)、manabaとOffice365 SharePointを使用予定である。 ・課題の量・内容・提出先・提出期限:各回で授業内容と関連した課題を課す。また、簡単な最終レポートを課す。各回の課題の提出期限は、原則として授業終了後から2日後以降とする。最終レポートは「メディア教育」の最終回に課題を提示し、提出期限についても説明する。 ・出席確認の方法:授業後の一定期間の間に、manabaの小テストあるいはレポートから授業内容に関する課題を提出する。 ・最終レポート、授業で出された小テスト・課題への生成AI活用については、第1回の授業で説明する。事前に教育における生成AI活用のガイドライン(学生向け)」を参照しておくことが望ましい。
他の授業科目との関連	OATW153 ライブラリーマネジメント OATW15C ライブラリーマネジメント
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	メディアリテラシー, 学習環境, 学校図書館, 社会教育, 学校教育